

令和6年度

災害対応特殊消防ポンプ自動車仕様書

十日町地域広域事務組合

(十日町地域消防本部)

第1章 総則

1 目的

この仕様書は、十日町地域広域事務組合（以下「甲」という。）が令和6年度に整備する消防ポンプ自動車「CD-I型」（以下「車両」という。）のシャシ、艤装、性能及びその他必要な事項を定める。

2 関係法令等

車両はこの仕様書に定めるほか、「道路運送車両法」、「道路運送車両の保安基準」、その他関係法令に適合する緊急自動車であること。

3 製作上の問題処理等

- (1) 車両の使用目的を十分に達成するため受注者（以下「乙」という。）は、誠意をもって製作を行い、仕様内容に疑義が生じた場合は、その都度速やかに甲と協議し、解決すること。
- (2) 仕様変更は、甲の承認を得ることとし、工業所有権、その他法令に抵触する問題が生じた場合は、乙において問題を解決し、その旨を甲に報告すること。

第2章 提出書類及び検査

1 承認書類

乙は、甲と契約後速やかに細部について打合せを実施し、次の書類各3部を提出し、甲の承認を受けること。承認後は、1部を乙に返却するものとする。

- (1) 製作工程表
- (2) シャシカタログ及び緒元
- (3) 図面
 - ア シャシ、キャビン（内外）図
 - イ 艤装外観5面図
 - ウ ポンプ、積載品搭載図
 - エ ポンプ配管系統図
 - オ 電気系統図

- カ ホースカー関係図
- キ はしご昇降装置関係図
- ク その他、甲が指示するもの

2 検査

(1) 中間検査

工程状況により甲と日程を調整し、承認図書をもとに中間検査を実施する。

中間検査の日程は、製作工程表に基づき、あらかじめ文書で協議すること。

なお、検査に係る甲の費用（2人分）は、全て乙が負担すること。

(2) 完成検査

工程状況により甲と日程を調整し、仕様書及び承認図書をもとに車両全般の最終完成検査を甲の指定する場所において実施する。

(3) その他

各検査には必ず検査員が立会い、指示事項及び確認事項は乙が記録の上、書面を取り交わすこと。

3 完成書類

乙は、完成納車時に次の書類（A 4版に製本）を2部提出すること。

- (1) 完成図
- (2) 消防ポンプ性能試験成績表
- (3) 日本消防検定協会の合格プレート（写）
- (4) 転覆角度実測証明書（公的に証明できるもの）
- (5) 自動車検査証（写）
- (6) 緊急自動車届出確認証（写）
- (7) 各取扱説明書
- (8) 工程写真（写真を保存したCDも提出）※製作工程に基づく写真

第3章 シャシ

1 シャシ形状

消防専用シャシ「CD-I型」用3トン級とし、令和6年式キャブオーバー型ダブルキャブとする。また、最新式の寒冷地仕様とする。

2 車両寸法等

- (1) 車両は、消防認定ディーゼルエンジン、ABS付マニュアルトランスミッションを搭載した四輪駆動車（低床）とし、最新の排ガス規制に適合するエンジンを搭載したメーカー公表の最新車両を使用すること。
- (2) 全 長 約 6,000mm 程度
- (3) 全 幅 約 2,000mm 程度
- (4) 全 高 約 3,000mm 程度
- (5) ホイールベース 約 2,500～3,000mm 程度
- (6) 車両総重量 7,500kg 未満
- (7) 乗車定員 5名
- (8) 排気量 4,000cc 以上
- (9) 燃料タンク 軽油用タンク・容量 60L 以上
- (10) ステアリング パワーステアリング
- (11) オルタネーター 24V-80A 以上
- (12) キャブチルト 電動・落下防止装置付（シャシ固有）
- (13) オイルパン オイルパンヒーター付（コード 10m 付）
- (14) タイヤ 夏タイヤ 1 台分/冬タイヤ 1 台分/夏冬スペア各
（全てアルミホイール付）
- (15) ヘッドライト LED 又は HID
- (16) フォグランプ LED 又は HID
- (17) 制動装置 アシストブレーキ（ABS 補助装置付）
- (18) バッテリー 12V-100AH 以上×2 個
（車両運用における全ての電装品、装備品を使用した際に十分かつ余裕を持った容量とすること。）
- (19) バッテリー引出 バッテリー 2 個同時に完全に引出せる架台方式とし
レール等により点検時に円滑に引出せる構造とすること。
配線は、引出状態で余裕のある長さにする。構造上、腐食の激しい部品は鉄の使用は認めないものとし、完全防錆処理とする。
- (20) DPRカバー 腐食の激しい鉄材質の使用は認めない。
- (21) スプリング バネ常数の高い強化スプリング
- (22) マッドガード 全輪に装着
- (23) 牽引フック 前後に装備（艀装により取付できない場合は協議）
耐荷重表示銘板を取付け。

- (24) チェーン 特殊合金製タイヤチェーン（ダブルタイヤ用バンド）
- (25) 車輪止 ゴム製 全輪に装備
- (26) ナンバー枠 ステンレス製ナンバー枠（前後）
- (27) 各照射灯 後輪、車幅（国産完全防水品）
- (28) 工 具 シヤシメーカー固有工具一式

3 キャビン等

- (1) バッテリーメインスイッチを設ける。
- (2) エンジン回転計、油温計、アワーメーターを設ける。
- (3) キャビン内の照明は、全て LED とする。
- (4) 前席、後席エアコン
- (5) センターコンソールボックス
- (6) 後退警報器（音声合成・操作しやすい位置に ON/OFF スイッチを設ける。）
- (7) 集中ロック装置（キーレスエントリー、全ドア連動作動）
- (8) 電動格納、熱線ヒーター、メッキミラー
- (9) パワーウインドウ（全席）
- (10) サンバイザー（運転席・助手席）
- (11) 間欠ワイパー
- (12) サイドバイザー（全ドア）
- (13) ルームミラー型バックアイカメラ・ドライブレコーダー一体型
 - ・リバース連動でルームミラーに後退画面表示
 - ・外部カメラは、自動で開閉・保護枠付（雪・錆対策カバーを取付けること。）
- (14) GPS ナビゲーション（最新型、AM/FM 機能付、地図更新可能型）
- (15) フロアマット（全席防汚型）
- (16) スペアキー 2 個（メインキーと同じもの）
- (17) 助手席は、呼吸器取り付可能型シート、飛鳥車体（株）製 HDFWS-RIN-120500（カラーは別途協議）
- (18) 全席、飛鳥車体（株）製超防汚シートカバー（カラーは別途協議）
- (19) 後席シート下部の収納ボックスの左右に扉を取り付ける。
- (20) 後席背面に飛鳥車体（株）製呼吸器取り付装置 HDFWS-RIN-510303（3 式）これに伴うキャブバックの改造を行う。
- (21) キャビン内地図入れボックス（A 3・パンチング）
- (22) 地図入れボックス脇に資機材固定用のパンチングメタルを設ける。

- (23) 前席シート背面に、後席用昇降用インナーグリップ SUS を設ける。
- (24) 室内灯は、全体を照射可能な大型 LED 灯を中央に 1 個設ける。ドア開閉連動及び単独 ON/OFF スイッチ付きとする。

第 4 章 艀装

1 艀装の条件

艀装は、この仕様書に適合して製作されるものとし、消防ポンプ車として消防活動が容易にできる構造及び性能を有するものであり、次の条件を満たしていること。

- (1) 使用する材料、部品等は、指定するものを除き日本工業規格(JIS)及び国際標準規格(ISO)と同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用すること。
また、車両に関するものは全て新規製品とし、関係法令に適合したものとすること。
- (2) 車体は、堅固で重量バランスを考慮した安定度を有し、徹底した防錆及び防水性に優れ、長期的な維持管理が経済的に行えるよう極力鉄鋼材を使用しない構造とする。
- (3) 車体は、運行上の荷重に十分耐えられる構造となるようサスペンション等を補強すること。
- (4) 車体の重要な点検箇所に関しては、工具を使用するためのスペースを確保するとともに、必要な個所に点検口又は扉を設けること。
- (5) 狭隘地域への侵入を考慮し、車体後部（リヤオーバーハング、デパーチャーアングル）を可能な限り絞り込み、旋回能力を最大限確保すること。
- (6) 資機材の出し入れなどにより傷がつきやすい箇所や塗装が剥がれやすい箇所は、必ず保護板及び保護枠を取り付すること。（ステンレス又はアルミ）
- (7) 電気配線の貫通部には、防水ゴムブッシュを施すこと。
- (8) 車体への電気配線の固定等は、貼付けシール式は認めない。
- (9) 使用する全てのビス、ボルト、ワッシャー及び止め具類はステンレス製とする。
- (10) 防錆、防雪及び凍結対策を徹底して施した構造とする。
- (11) 各取り付け装置、資機材の保持、受け金具等は、アルミ又はステンレス

製とし、経年で腐食が発生しないものとする。

- (12) 全体の艀装構成は、前方からキャブ・水槽・ポンプ室・吸管巻取装置・収納庫とする。

2 キャブの擬装

(1) キャブ外観

ア キャブは、ハイルーフダブルキャブオーバー型とする。

イ キャブ本体と車体（ポンプ室側）は、外観上一体的に見えるよう工夫し、高さを揃えバランスがとれた車体とすること。

ウ キャブ上部前方にはキャブ一体型で左右対称の位置にLED式赤色警光灯（拡声装置付電子サイレン用スピーカー及び広報用スピーカー内臓）を設置すること。

また、スピーカーカバーにあっては、紫外線や雨水等により変色や経年劣化しにくい素材を使用すること。色、形状等はメーカー固有のものとする。

エ キャブ上部左右に、埋込式で標識灯（黄色）を左右対称に各1個設置すること。

記入文字は「南」とする。

オ キャブ上部左側の標識灯後方に訓練旗を設置する固定具を取付け、固定具は良質なステンレス製とすること。また、旗竿がロックできる構造とすること。

カ キャブ上部または、フロントバンパー付近の設置可能な場所にモーターサイレンを設置すること。

キ フロントバンパーは、カラードバンパーで消防赤色塗装とし、上部はアルミ縞鋼板張りとする。

ク フロントグリルは純正メッキ仕様とし、グリル内には補助赤色点滅灯を左右均等に1個ずつ設置すること。

ケ フロントグリル中央部に台座を設け、消防章を強固に取り付けること。

コ キャブの左右（B及びCピラー）には、乗降用の良質なステンレス製手摺を1個ずつ設けること。

サ キャブの左右乗降ステップは、アルミ製縞鋼板又はステンレス製保護板を使用すること。

また、外縁は折り曲げ加工を施し、切断部は丸みをつけて取り付けること。

- シ キャブの左右乗降ステップは、最大限延長するものとし、十分な強度を有するよう設置すること。
- ス キャブと車体間の支障のない位置に車輪止収納枠を2個を設けること。
- セ キャブ左右の適切な位置にサイドマーカーランプを取付けること。
- ソ キャブ右側には、車両バッテリー充電用に100Vコンセントからオート充電器用コンセントをマグネットタッチ式で設けること。また、付近にオイルパンヒーター用電源コネクタ差込口をキャップ付きで設けること。位置については、別途協議とする。

(2) キャブ室内

- ア キャブ天井部はハイルーフとし、内面断熱材及び内張りを施し、内張りはダブルキャブ用一体形成ルーフライニング付きとする。
また、室内を1,550mm以上確保すること。
- イ キャブ後部は張出式とし、キャブ上部の赤色警光灯及びキャブ天井部と一体形成された構造とすること。
- ウ キャブ室内は、ハイルーフとしたことで出来る天井スペースに小物を収納できる棚等を設けること。全てに落下防止処置を施すこと。
積載品等は別途協議。
- エ 内張りは、各配線等が露出することなく点検等が容易にできる構造とし、美観を損ねないように配線すること。
- オ 前席中央にセンターコンソールボックスを設け、車両運用端末装置、10連スイッチ及び車載無線機を埋込設置すること。配置等は別途協議。
- カ センターコンソールボックスには、100Vコンセントを2口設けること。
- キ オーバーヘッドに電子サイレンアンプを埋込設置すること（又はセンターコンソールに配置）。配置等は別途協議。
- ク キャブ天井の可能な位置に手袋、マスク等の小物を収納できるネットを取り付けること。
- ケ 後部座席後方の呼吸器固定装置上部に面体、ヘルメット等が掛けられるフックを3個設けること。

3 車体の艤装

(1) 全体

- ア ボディ形状は箱型とし、左右側面及び後面は全面アルミシャッター

製上方開きとし、バーロック機構を有するものとする。

- イ ボディはPP樹脂製又はFRP製とし、耐久性を十分考慮するとともに、清掃、点検、整備、修理等が容易に行えるものであること。
- ウ 各艀装材料のバリ等は十分に削り、アルミ縞板繋ぎとしてパテ盛り等は施さないこととし、飛出したボルト等は短く切りつめること。また、アルミ突起物等を極力なくす構造とすること。
- エ 車体は樹脂製完全防水構造とし、シャッターとパネルの接触面は内部に水が入らないよう折り返しをつけ、徹底的にシーリングなどの防水措置を講じること。
- オ 収納庫内、ステップ等で帯水の恐れのある個所には防蝕処理を施し、最小限の大きさの水抜孔及びゴム栓を設けること。また、水抜きパイプ等により車体下方へ排水する構造とし、下部からも雨水等が侵入しない構造とすること。
- カ 収納庫内の床面、壁面等は防水防蝕性を図るため、構造上必要部にはステンレス又はアルミ板を使用すること。また、各収納庫の床面には樹脂製のスノコ板を必要数設けること。
- キ 使用するゴム製品は全て耐油性の合成ゴムを使用し、収納庫の変形、歪み等が生じないものとする。また、全ての配線等は保護管、フレキシブルチューブ等により保護すること。
- ク 収納スペースを最大限確保するため、収納庫内の天井、壁面等は構造上可能な限りパンチングメタルを使用すること。
- ケ 各シャッターは車体と同色の消防赤とし、防振、防音性、軽量、たわみ強度を有するものとする。また、巻取りドラムもコンパクトなものとし、シャッター保護のため、シャッター巻取り部に脱着が容易な構造でステンレス製カバーを取り付けること。
- コ 各収納庫にはLED照明を必要数設け、その全てに防水加工を施すこと。設置位置及び数量は、別途協議とする。
- サ 各収納庫の幅、奥行、高さは最大限確保し、フランス落とし（ステンレススライドラッチ）のダブルロック機構とし、取手は手袋等でも容易に操作できるよう大型のものを取付けること（詳細は別途協議）。
- シ 車体左右には、上部昇降用ステップを適所に取付けること（詳細は別途協議）。
- ス 車体上方に隊員昇降に必要な手摺り又は握り棒を設けること（詳細は別途協議）。

(2) ポンプ室（シャッター）

ア ポンプ室床面はステンレス製板張りとし、水切りをよくするためシャシフレーム側に傾斜をつけ、ポンプ操作部側板と交わる部分は、数ミリ程度の隙間を設けること。隙間の左右には、ステンレス板を取り付けること。また、ポンプ室の側板は密閉式とし、ポンプ点検口を可能な限り大きく設け、点検手入れが容易に行える構造とすること。

イ ポンプ室下部には、ポンプアンダーカバーを設けること。

ウ 全ての操作部には、銘板を明記すること。ステッカーは認めない。

エ ポンプ室上部の収納庫は、可能な限り広く収納棚を設置する。

オ ポンプ室上部収納棚は、様々な形状のホースを収納できるよう間仕切りを設けず車両の左右どちらからでも容易に資機材を出し入れできる構造とすること。

また、固定バンド、仕切り棒等で落下防止措置を施すこと。

カ 左右のポンプ室最上部（シャッター裏）で支障のない位置に前後に向かってステンレスパイプを設け、防火服等が掛けられるようパイプ上を移動可能なフックを必要数取り付けること。また、天井面で取り付可能な位置にパンチングメタルを設置し、S字フック等を取付けられる構造とすること（設置位置、数量は別途協議）。

キ 右側ポンプ室にはパンチングメタルを設置し、長ロープ、カラビナ等が設置できるフック等を取付け、脱落措置を施すこと。その下方には、ポンプ点検口を設けること。また、点検口前面には資機材等が立て掛けられるよう調整可能な固定バンド等を設けること（設置位置、詳細は別途協議）。

ク 左右ポンプ室内に車外無線機用送受話器、スピーカー、AVM装置を設け、ボックス等に収めること。

ケ 上記のほか、ポンプ室内に資機材を可能な限り積載できるようスペースを有効活用すること。

(3) 車両側面及び後部左右収納庫（シャッター）

ア 後部左右収納庫内は、任意で仕切りの高さを変えられる可動式棚とし、3段から4段とする。固定金具又はバンドを設ける。また、吸管収納部との間仕切りは、パンチングメタルを設置する。積載品等については、別途指示する。

イ 吸管収納部の下部は、各媒介金具類を収納できる構造とし、ステンレス製保護板を設けるとともに防振、防音措置を施すこと。

(4) 車両後面及び収納庫（シャッター）

- ア 後面収納庫には、甲が指定する横須賀式手動ホース延長用資機材を積載すること。固定装置は全てステンレス製とする（数量、位置は別途協議）。
- イ ホース延長用資機材収納庫の奥行きは最大限確保し、内部に収納棚を設けること。
- ウ ホース延長用資機材収納庫の上部には、空気ボンベ4本を収納できる収納ボックスを設けること。
- エ ホース延長用資機材収納庫の左右には、消火栓開閉金具類、スコップ類等を設置すること（積載品、数量及び位置は別途協議）。

(5) 車両後面

- ア 車体後部右側には、車体上部に昇降するための展開式ステンレス製梯子を設けること。また、十分な強度を有し、がたつき等がないように取り付けること。なお、梯子の横棧部には滑り防止措置を施すこと。

(6) 車両上部

- ア 車両上部は、アルミ縞鋼板張りでフラットな構造とし、複数の隊員が活動できるよう強固な構造とする。また、上部左右のボディー側面立上げ部の内側もアルミ縞鋼張りとし、容易に脱着可能な構造とすること。
- イ 車体上部の水槽補給口は、タンク内のメンテナンスが容易に行えるよう十分なスペースを確保すること。また、ポンプ点検口も同様に設けること。
- ウ 車体上部には、埋没式ステンレス製D環を対になるように最大限設置すること。（設置位置、数量は別途協議）
- エ 車体上部左側に手動スライド式の三連梯子昇降装置を設置し、後部から一人操作で容易に引き出し地上に下ろすことができること。なお、三連梯子の上に鍵付き梯子を2段式に積載し、側面にはトビロ2本を刃先保護枠付きで積載できる構造とすること。また、三連梯子昇降装置がキャブ上にかかる場合、エンジン点検時に装置が干渉しない位置へ移動するまでキャブチルトできないように安全装置を取り付けること。
- オ 車体上部右側には、容易に離脱着可能なアルミ製の格納箱を指定の位置に設けること。また、格納箱は防錆加工を施し、雨水等が浸透しない構造とすること。更に振動、衝撃等により破損、緩み等が生じな

いよう車体に固定して設けること。

格納箱は、資機材の変更や緊急時の積載変更に対応するため取外し式で2個設置し、格納箱内底面には樹脂スノコ板を設けること。

カ 車体上部には LED 照明装置 2 個を設けること（位置等は別途協議）。

キ キャブ、車体間上部に張出部を設け目隠し兼用ステップ構造とすること。また、張出部はアルミ縞鋼板張りで十分な強度を有し、キャブチルト時の障害とならないよう配慮すること。

ク 車体上部の適切な位置に予備吸管を設置すること（設置位置等は別途協議）。

第 5 章 ポンプ関係

1 ポンプ関係

(1) 主ポンプ

ア 水ポンプ

主ポンプは、オールアルミ製高圧 2 段バランスタービンとする。

イ ポンプ性能

A-2 級

送水圧力 0, 85MPa において放水量 2, 000L/min 以上

送水圧力 1, 40MPa において放水量 1, 400L/min 以上

ウ その他

水ポンプは、シャシエンジンの PTO により駆動され、PTO の操作は運転席から容易に操作できる位置に設けられたスイッチにより行うものとし、非常用 PTO スイッチを設けること。また、PTO 作動時にはパイロットランプが点灯すること（設置位置は別途協議）。

主ポンプは、あらゆる回転状態、吸水、落差、放水量及びポンプ圧力において振動、発熱、異常音及び漏水がない構造とする。

グラウンド部及び軸先端部は、アルミ製グリスレスのメカニカルシールとする。

(2) 真空ポンプ

ア 真空性能は、吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84%以上の性能を有する装置であること。また、操作は左右のポンプ操作部に設けた押しボタン式スイッチにより円滑に行うことができ、揚水完了後は自動的

に停止すること。

- イ 真空ポンプの故障に対応した非常用の別回線スイッチを左右に設けるとともに、揚水が確認できるランプ等を設けること。
- ウ 真空ポンプ本体は、完全無給油の4翼又は6翼ロータリーベーン式とし、また、水、泥等が混入しても影響のない構造とし、ポンプ不凍液注入装置により主要部の凍結防止が図れること。
- エ メンテナンス、故障等を考慮した呼水回路にオイルタンクや汽水分離装置を必要としない構造とする。

(3) ポンプ操作装置

- ア ポンプ操作装置は、操作員が容易に、かつ、安全に行えるよう左右のポンプ室に設けること。
- イ ポンプ操作装置は、長期の経済的維持管理を考慮し、押し釦式操作盤とする（液晶ディスプレイ、タッチパネル式等は認めない）。
- ウ ポンプ圧力計、連成計、流量計及び積算流量計を操作盤とは別に設け、配置する（配置等は別途協議）。
- エ 真空、揚水、放水口、中継口及び吸水口の取扱いを表示ランプで表示させること。また、表示は昼夜問わず視認性を確保すること。
- オ ポンプスロットルは手動式とし、左右とも右回転でスロットルアップとする。

(4) 吸水口

- ア 吸水口は、75mm ボールコック付（ストレーナー付）とし、左右ポンプ室内に各1個設けること。また、吸水口エルボを取り付け、車体を傷つけないようスーパースイングとする。各ボールコック周りにはメッキ保護枠を取付けること。
- イ 吸水管は、ポンプ室後方に電動式サイドプル装置（1本巻）を積載し、左右どちらからでも容易に引き出せる構造とすること。また、吸水管と吸水口の取付部には、ねじれ等を解消するスイベル式継手を取り付けること。
- ウ 吸水管を延長した際、車両本体等に干渉する箇所には、当該車両及び吸水管を保護するための措置を講じること（詳細は別途協議）。

(5) 放水口及び中継口

- ア 65mm ボールコック付放水口を左右ポンプ室内に各2個設けること。

また、各放水口には 65mm/50mm のマルチコネクター式放口金具を取り付けること。

イ 65mm ボールコック付（ストレーナー付）中継口は、町野式メス金具媒介接手付とし、左右に各 1 個設けること。また、各中継口にはリレーコントロールバルブを取り付け、シャッター開閉時に接触等のない構造とすること。

ウ 放水口及び中継口の開閉操作は、同一方向とする（別途協議）また、高圧力においても容易に開閉操作が可能な構造とすること。

エ 各ボールコック周りには、メッキ保護枠を取り付けること。

(6) ポンプ配管

ア 配管の曲部は、努めて大きくとり摩擦損失を最小限に抑えること。

イ 配管の結合にはフランジを使用し、点検修理時に脱着できること。

(7) ドレン配管

ア シームレスパイプにより、全ての配管内から残水を確実に排出できること。

イ 各配管の排出弁はコック式とし、吸水放水系統に分けて容易に操作ができる構造とすること。

ウ 配管は途中で固定し、振動対策を施すとともにポンプ等の点検に支障がないようにすること。

(8) 冷却装置

ア エンジン冷却水を大地に放出することなく、PTO、ギヤケース、サブラジエターを通った後、水槽に戻す冷却水還流装置を設けること。また、切替コックを設け、放出も可能な構造とすること。

イ ポンプ室右側の操作し易い位置に冷却用バルブを設けること。

(9) ポンプ不凍液装置

ア 少量の不凍液を中央吸水管部より吸水させ、主ポンプ、真空ポンプ等の凍結を防止する構造とする。

(10) 水槽

ア 水槽の容量は 900L とし、永年使用を考慮し、材質は腐食しない PP 樹脂製又は FRP 製とすること。

- イ 水槽は、腐食、振動、衝撃等による劣化損傷による緩み等が生じないように艀装ボディーと継目のない一体成型の構造で、変形及び水漏れのない構造とし、防波板を設けること。
- ウ 水槽には、オーバーフローパイプを設けること。
- エ 浮き式の流量計を左右のポンプ室に設けること。
- オ 水槽下部にドレン配管を設け、当該ドレンを車体片側に集中配管し、容易に操作できるようコックを設けるとともに、水槽ドレンである旨の銘板を設けること。
- カ 水槽上部にはタンク内メンテナンスが行えるよう、十分なスペースを有する水槽蓋（マンホール）を設けること。
- キ 水槽とポンプの給水側との間に 75mm 手動ボールコックを設け、左右のポンプ室で容易に操作が行えるようにすること。
- ク 水槽に水を補給する積水口（65mm 町野式メス金具及びステンレス鎖付の蓋付）に水抜きコックを取り付けて左右に各 1 個を設けるとともに、水道ホースで補給できるよう止水コック付給水口を設けること（詳細別途協議）。
- ケ ポンプを介さずにタンク水が使用できる蛇口を設けること（詳細別途協議）。

第 6 章 電気系統

1 電気系統

(1) 全般

- ア 各電装品の電気配線及び無線機装置関係の配線は、強固に取り付けるとともに、貫通部は防水処置を施し、配線は隠ぺい配線とする。また、キャブ内張りからピラーを通し、電装品及び各配線の点検が容易にできる構造とすること。
- イ 各装置のヒューズは点検容易な位置に設け、各電装品のヒューズごとに名称を記入すること。また、予備ヒューズを付属すること。
- ウ 配線、コネクタ等は、防水及び防錆性能を有するものを使用し、それらに雨水等が直接かからない措置を講ずること。
- エ 機器、照明等の配線はできる限り外部に露出しないよう被覆管等を通し、固定金具等で確実に固定すること。また、キャブチルトした場合においても支障がないようにすること。

(2) 赤色点滅灯及び補助警告灯

- ア キャブ上部には、キャブ一体型の LED 型の LED 型赤色警光灯（拡声装置付電子サイレン用スピーカー内臓）を設置すること。
- イ フロントグリル内に左右均等に LED 補助警告灯を設置すること。車体上部側板 LED 赤色点滅灯を左右に各 3 個を設置すること。
- ウ 車両後方の最上部に LED 赤色点滅灯を左右対称に各 1 個を設置すること。また、保護枠を設けること。
- エ 上記の点灯スイッチは、電子サイレンアンプ警光灯スイッチと同一点灯すること。また、機能集中型 10 連スイッチにより赤色点滅及び補助警告灯の点滅並びに消灯ができるものとする。

(3) 照明灯及び作業等

- ア 照明灯及び作業灯は車両バッテリーを電源とし、耐久性、振動性及び防水性に優れたものとする。
- イ 車体上部に立ち上げた側板の左右には LED 作業灯を各 3 個を設置し、LED 赤色点滅灯と交互に等間隔となるよう取り付けのこと。
なお、作業灯は周囲に十分な照度を得られるものとする。
- ウ 車両後方の LED 赤色点滅灯の下部に LED 作業灯を各 1 個設置し、それぞれに保護枠を設けること。
- エ 作業灯は、側面と後部が独立して任意に点灯、消灯ができる構造とし、左右のポンプ室内に個別のスイッチを銘板、保護枠付きで設けること。
- オ 各収納庫の LED 灯は、夜間活動時に十分な照度を確保できるよう天井庫内灯とは別に、シャッターレールに LED 照明灯を必要数設けること。なお、スイッチをポンプ室内に銘板、保護枠付きで設けること。
- カ ポンプ室内シャッターボックス下部に、夜間において計器等がより見やすいよう、各収納庫 LED 照明灯とは別にポンプ室 LED 照明灯を設けること。また、各収納庫の LED 灯と連動して点灯すること。
- キ LED タイヤ照明灯は左右後輪に各 1 個を設け、完全防水及び破損防止措置を講ずること。また、スモールライトと連動して点灯するものとする。
- ク 車体上部に LED 照明装置を 2 個設置すること。また、手動で伸縮と旋回することができ、照射位置を変えられる構造とし、スイッチをライト付近に保護枠付きで設けること。
- ケ 各計器類及び組合が指定する個所には、LED の照明灯を設けること。

なお、点灯方法及び設置場所は組合と協議し、決定する。

(4) 電子サイレンアンプ

ア 電子サイレンアンプは音声合成装置内蔵型とし、操作性を考慮した位置とする。設置位置は組合と協議し、決定する。

(5) モーターサイレン

ア モーターサイレンは、ハイルーフ部に内臓、又はフロントバンパー付近のエンジンルーム内に取り付け、配線はキャプタイヤコードとしリレーは点検可能な位置に設け、自動吹鳴装置を取り付けること。

イ モーターサイレンスイッチは、助手席側センターコンソールボックス及び後席で容易に操作できる位置に取り付けること。

(6) 艀装部品操作スイッチ

ア 機能集中型 10 連スイッチとし、センターコンソールボックス内に埋込式で設けること。

第 7 章 通信機器

1 消防専用無線電話装置（無線機）及び車両運用端末装置（AVM）

(1) 取付方法、配線等

ア 消防専用無線電話装置（以下「無線機」という。）及び車両運用端末装置（以下「AVM」という。）は甲が準備する既存品設置とし、アンテナ及びケーブル、スピーカー等は新品を使用すること。

イ 設置に関わる全ての費用は、乙が負担すること。なお、無線機本体及びAVM装置一式の取り付け及び調整は、甲が指定する業者が行うこと。

ウ 無線機本体は、センターコンソールボックスに設けること。

エ AVMの取付位置は、操作性を考慮した位置に設置すること。

オ 配線等は、容量及び長さに十分な余裕をとり、配線は露出させず、貫通部、接続部等の保護及び防水措置は完全に施し、各配線は相互に干渉しないように配置すること。

カ 左右ポンプ室のボックス内に電話装置一式及び車外設定端末装置を設置すること。また、キャブ内のセンターコンソールボックス付近に車

内外の切替スイッチを設け、車外に切替えても車内のスピーカーから音声が流れる構造とすること。

キ 車内のスピーカーは、出力調整ができるものを前後に1個ずつ設けること。

ク 各種アンテナはキャブ上部に設置し、配線は雑音等を考慮し、適切な位置を甲と協議し、取り付けること。なお、アンテナ配線は露出部が無いように保護用管を用いてキャブ内へ配線すること。

第8章 塗装及び記入文字

1 塗装

(1) 塗装方法

ア 塗装は、完全防触加工を施し、指定塗色「消防赤色」とする。

イ 樹脂以外の鋼板部は薬剤で錆を落とし、表面を平らにして素地調整を行うこと。表面の歪み等は認めない。

ウ アルミ板、ステンレス板及びメッキ加工以外の部分は全て塗装し、金属の露出等がないものとする。

エ シャッター内及びボックス内の塗装は、シルバー色とすること。その他、色分けが必要な部分は、甲の指示する色に塗装すること。

オ 各種配管類は、法定塗装とする。その他、色分けが必要な部分は、甲の指示する色に塗装すること。

2 記入文字

(1) 文字記入等

ア 文字の材質は反射シートとし、記入はすべて左書きとする。

イ 車両前部助手席側に白文字丸ゴシック体で「南ポンプ1」と記入すること。

ウ 車両両側面前部ドア下側に白文字丸ゴシック体で「南ポンプ1」と記入すること。

エ 車両両側面後部ドア中央部に白文字丸ゴシック体で「十日町地域消防本部」と記入すること。

オ 車両両側面後部ドア中央部に組合指定のエンブレムを貼り付けること。なお、貼り付け位置は「十日町地域消防本部」と記入する下部とする。

- カ 車両側面シャッターに白文字明朝斜体（黄色影付き）で「N I I G A
T A T O K A M A C H I F I R E D E P T .」と4段で記入すること。
- キ 車両後部シャッター上部に白文字丸ゴシック体で「十日町地域消 防
本部 新潟県」と2段で記入すること。
- ク 車両後部シャッター下部右側に白文字丸ゴシック体で「南ポンプ 1」
と記入すること。
- ケ 対空標示をキャビン頂部中央付近に白文字ゴシック体で「南 P 1」
と2段で記入すること。
- コ 再帰性に富んだ反射テープを車両外周に貼り付けること（詳細は別
途協議）。
- サ 文字の詳細な位置や大きさ等については担当者と協議し、決定する
こと。

第9章 保証等

納入後の保証期間は、車両、艀装部分、装備品、積載品、特別装備品の各メーカーの公表する期間とする。

ただし、保証期間が過ぎても設計不良又は工作不良に起因する不具合が生じた場合は、無償で修理等を行うこと。

第10章 納入

1 納入場所

十日町地域広域事務

2 納入期限

令和7年3月31日

第11章 補則

- 1 本仕様書に定めない事項について、甲の公示した仕様及び機能、工作上当然必要と思われるものは施行し、疑義が生じた場合は甲と協議し、指示に従うこと。
- 2 本仕様書に定めない他の取付品、取付装置、積載品、付属品及び車輛備品は、別表のとおりとし、指示のあるものを除き、すべて新規製品であること。
- 3 車両の登録ほか、納車等に関する一切の費用、は乙が負担すること。なお、重量税、自賠責保険料、リサイクル料金も含むものとする。
- 4 車両は、緊急自動車として承認が得られるものであり、緊急自動車届出確認証の手続きは乙が代行すること。また、緊急自動車届出確認証交付後、申請書と合わせて甲に提出し、納車すること。
- 5 納車時は、各部清掃、注油、ワックス掛け等の手入れを行い、燃料等は満タンにすること。車両のタイヤは、納車時季に応じたものを装着すること。
- 6 納車後、甲が指定する日時及び場所において職員に対し、取扱い説明を行うこと。

■別表1（取付品、取付装置及び付属品）

1	エンジン回転計	1	個	
2	エンジン油温計	1	個	
3	後退警報機	1	式	
4	キャブチルト装置	1	式	電動式
5	フルパワーPTO	1	式	
6	マグネット式オイルパンヒーター	1	式	防水型10mコード付き
7	電子ガバナー	1	式	
8	ABS装置	1	式	
9	全席集中ドアロック	1	式	
10	全扉パワーウインド	1	式	
11	フォグランプ（LED）	1	式	純正品
12	ヘッドランプ（LED）	1	式	純正品
13	エアコン（冷暖房）	1	式	リア空調吹き出し口含む
14	電動パワーミラー	1	式	
15	室内灯（LED）	1	式	
16	カーラジオ AM・FM	1	式	（ナビに備わっている場合レス）
17	バックアイカメラ	1	式	ドライブレコーダーモニタ連動8インチ以上液晶モニタ エンジンON・OFF連動・常時監視
18	カーナビゲーションシステム	1	式	国産メーカー
19	ドライブレコーダー	1	式	国産メーカー・バックアイカメラ連動 モニタ内臓・FullHD 常時録画 64G メモリー付き
20	サンバイザー サイドバイザー	1	式	アクリル製
21	メッキフロントグリル（下部含む）	1	式	純正品
22	ドアリフレクター	1	式	赤反射シート
23	泥よけ（マットガード）	1	式	ゴム製
24	フロアマット	1	式	前席 ゴム製
25	ナンバー枠	1	式	ステンレス製（車両前後）

26	超防汚シートカバー	1	式	前席 ゴム製
27	ポンプ圧力計	2	個	左右ポンプ室
28	ポンプ連成計	2	個	左右ポンプ室
29	ポンプ操作盤	2	式	左右ポンプ室 非常時真空装置含む
30	流量計	2	個	左右ポンプ室
31	積算流量計	1	個	ポンプ室
32	高輝度赤色警光灯	1	式	ハイルーフ一体型 各メーカー固有 LED、スピーカー、モーターサイレン 内臓
33	補助赤色点滅灯（フロント グリル付近）	2	個	LFA100
34	補助赤色点滅灯（フロント バンパー）	2	個	LFA50
35	補助赤色点滅灯（左右側面 上部）	6	個	LFA200
36	補助赤色点滅灯及び作業 灯（後部）	2	個	LFIA300 専用プロテクター付
37	作業灯（左右側面上部）	6	個	LIA200
38	各庫内灯（5面シャッター 内左右端部）	30	個	LIA-W
39	照明灯（手動伸縮式・車体 前後部）	2	個	LED 作業照射灯
40	電子サイレンアンプ	1	式	(株)大阪サイレン TSK-D152 音声合成 専用マイク
41	10連スイッチ	1	式	(株)大阪サイレン SBW-D1 リレー付き
42	不凍液注入装置	1	個	カプラー式
43	車載無線機	1	式	旧車両より載せ替え
44	AVM装置	1	式	旧車両より載せ替え
45	消防章	1	個	150ミリメートル・クロームメッキ
46	昇降用はしご（車両後部）	1	式	アルミ製展開式
47	キャブ内前席センターコ ンソール	1	個	詳細は別途協議
48	地図等収納ボックス	1	個	A3サイズ
49	バッテリー引出し装置	1	式	ボックスタイプ 保護カバー

50	アルミシャッター	5	面	車体と同色塗装 アルミ合金製バー ハンドル
51	エンジン点検灯	1	式	
52	路肩灯	2	個	LED 灯
53	ポンプ操作部 計器照射灯	2	式	LED 灯
54	フレキシブルマップランプ	1	個	LED 灯
55	空気呼吸器取付装置	4	基	助手席埋込式シート+後部席後面キ ャブバック 3
56	後部握り棒	1	式	ステンレス製 S 字フック付 (別途協 議)
57	携帯拡声器取付装置付	1	個	
58	車体上部収納ボックス	2	式	アルミ製 ボルトオン式 (着脱)
59	はしご手動昇降装置	1	式	
60	ホースカー昇降装置	1	式	手動・指定ホースカー専用昇降装置
61	電動式双方向吸管巻取装 置	1	式	左右横引一本吸管式
62	全自動車両バッテリー管 理装置	1	式	
63	変換用コンバーター	1	式	
64	水位計 (左右ポンプ室)	2	式	

■別表 2 (積載品及び付属品)

1	吸水管	1	本	75mm以上×10m サイドプル方式
2	延長用吸管	1	式	別途協議
3	吸水管ストレーナー	2	個	プラスチック製
4	吸水管ストカゴセット	2	個	IWA 16SKGF3P フック付ロープ
5	中継口ストレーナー	2	個	
6	吸管スパナ	2	個	
7	吸管まくら木	2	個	
8	消火栓媒介金具	1	個	75 mmメスネジ×65 mm差込メス 軽合金
9	中継口媒介金具 (常時接続)	2	個	YONE(株) リレーコントロールバルブ
10	放水口媒介金具	4	個	YONE(株) MC スィーベル吐水口 65/50 マルチ
11	管鎗 65 (ノズル付き)	2	本	YONE(株)eーノズルフォルダー無反動管鎗型 PEH-65K (ダブコンマーク II 付き)
12	特殊ノズル 40	2	本	YONE(株) クアドラフォグノズル NH-40QF
13	特殊ノズル 50	2	本	YONE(株) クアドラフォグノズル NH-50QF
14	水槽補給キャップ	2	個	65ミリメートルオス鎖付き
15	とび口	2	本	長さ1,800ミリメートル柄材質は、グラスファイバー
16	剣先スコップ	1	本	
17	金てこ	1	本	長さ別途協議
18	バール	1	本	長さ別途協議
19	ポンプ工具	1	式	各メーカー固有
20	消火器	1	本	自動車用ABC粉末10型固定金具付き
21	二又分岐管	2	個	YONE(株) WB-65/40 WB-65/50
22	消火栓開閉器具 (蓋用)	4	個	T字型2個 Jフック型2個
23	消火栓開閉器具 (バルブ用)	2	個	地上式1個 地下式1個
24	スタンドパイプ	1	個	YONE(株) PS-65F

25	鉄線カッター	1	個	絶縁ボルトクリッパーZBC
26	万能おの	1	個	
27	三連梯子	1	基	関東梯子(株)SIW87
28	一連梯子	1	基	関東梯子(株)KHFL-CT
29	ホースバッグ	8	個	BE-010 オレンジ4個 黒4個
30	フローティングストレーナー	1	個	
31	アルミホースカー(手動)	1	台	組合指定品
32	媒介金具	1	個	65mm差込メス×65mm差込メス 軽合金
		1	個	65mm差込オス×65mm差込オス 軽合金
		2	個	65mm差込メス×50mm差込オス 軽合金
		2	個	50mm差込メス×40mm差込オス 軽合金
		2	個	50mm差込メス×65mm差込オス 軽合金
		1	個	75mmオスネジ×65mm差込メス 軽合金
33	空気呼吸器	4	基	本体(ドレーゲル)+ボンベ
34	予備ボンベ	4	本	軽量ボンベ 4.0ℓ以上 4.7ℓ以下 バルブ角90度 充填圧力29.0MPa以上
35	泡消火薬剤混合・放水器	1	個	YONE製 プロパック
36	消防用ホース65	14	本	65mm×20M 1,6MPa 低圧損
37	消防用ホース50	8	本	50mm×20M 1,6MPa 低圧損
38	消防用ホース40	8	本	40mm×20M 1,6MPa 低圧損
39	熱画像装置	1	個	FLIR K2
40	発電機	1	台	EU9i
41	コードリール	1	個	防雨・30M
42	投光器 バッテリー、100V兼用型	1	式	本体:ML805×2 三脚:A-58126 パワーソースキット:A-67094
43	燃料携行缶	5	個	1,3L オプティマス ボトル
44	小型電動油圧救助器具	1	式	(株)オグラ コンビツール BC300X 専用 ケース 予備充電器1 予備バッテリー2
45	携帯用拡声器	1	個	電子メガホン
46	LED誘導棒	3	本	
47	伸縮式カラーコーン	4	本	伸縮式
48	ホースブリッジ	2	個	

49	泡原液缶（クラスA）	2	個	
50	携帯用ライト	2	個	ストリームライトバルカン180 ファイヤー防爆
51	タイヤチェーン	2	個	

■別表3（車輛備品）

1	自動車工具一式	1	式	標準付属品
2	車両キー	3	式	キーレスエントリー+キープレート
3	車輪止め	2	個	ゴム製（中型車両用）
4	非常信号用具	1	本	標準付属品（発煙筒）
5	三角停止表示板	1	個	
6	スタッドレスタイヤ	7	本	アルミホイール付
7	牽引フック	1	式	車両前後 牽引ワイヤー2本付
8	補修用塗料	1	式	消防色（朱色）・シルバー各1リットル